

Raise3D E2 スペック表

サイズ	造形サイズ (W×D×H)	
	シングルヘッド造形時	デュアルヘッド造形時
	330×240×240 mm	295×240×240 mm
	本体サイズ (W×D×H)	
	607×596×465 mm	
電源	入力	一般100-240 V AC,50/60 Hz
	出力	350W,24V
プリンター	造形方式	FFF(熱溶解フィラメント製法)方式
	プリントヘッド	独立デュアルエクストルーダー(IDEX)
	フィラメント直径	1.75 mm
	位置決め精度	X軸0.78125,Y軸0.78125,Z軸0.078125 micron
	出力速度	30 - 150 mm/s
	ビルドプレート	フレキシブルビルドプレート
	プリント用シート	BuildTak
	最高プラットフォーム温度	110 °C
	プラットフォーム材質	シリコン
	プラットフォームの水平調整	オートキャリブレーション
	使用可能フィラメント	PLA/ ABS/ HIPS/ PC/ TPU/ TPE/ PA/ PETG/ ASA/ PP/ PVA /Woodなど
	ノズル径	0.2/ 0.4/0.6/ 0.8mm
	最高ノズル温度	300 °C
	動作音	50dB以下
	接続方法	Wi-Fi / LAN / USB / Ethernet
推奨使用環境	温度15 - 30 °C, 湿度10 - 90%	
認証	CB, CE, FCC, RoHS, RCM	
ソフトウェア	スライスソフト	ideaMaker
	対応OS	Windows / Mac OS / Linux
	入力ファイル形式	STL/ OBJ/ 3MF
	出力ファイル形式	Gcode
コントロール	ユーザーインターフェース	7-inch Touch Screen
	解像度	1024×600
	モーションコントローラー	Atmel ARM Cortex-M4 120MHz FPU
	制御チップ	NXP ARM Cortex-A9 Quad 1 GHz
	メモリ	1 GB
	フラッシュメモリ	8 GB
	ポート	USB 2.0×2 / Ethernet×1

安全に関するご注意

商品を安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

日本 3D プリンター株式会社

〒135-0063 東京都江東区有 3-7-26
有明フロンティアビル B 棟 2F
TEL : 03-6683-9789
URL : www.raise3d.jp
Email : info@3dprinter.co.jp

Raise3D 日本総代理店

※本カタログに掲載された内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
※本カタログに掲載された会社名、各製品名、サービス等は各社の商標または登録商標です。
※本カタログに使われている画像、イラスト等はイメージのため、実際の仕様・形状と若干異なる場合があります。

ご用命は信頼ある当店へ

RAISE3D E2

Precise, Reliable, and Affordable

独立したデュアルエクストルーダー
全ての3Dクリエイターに向けた
高性能エントリーモデル



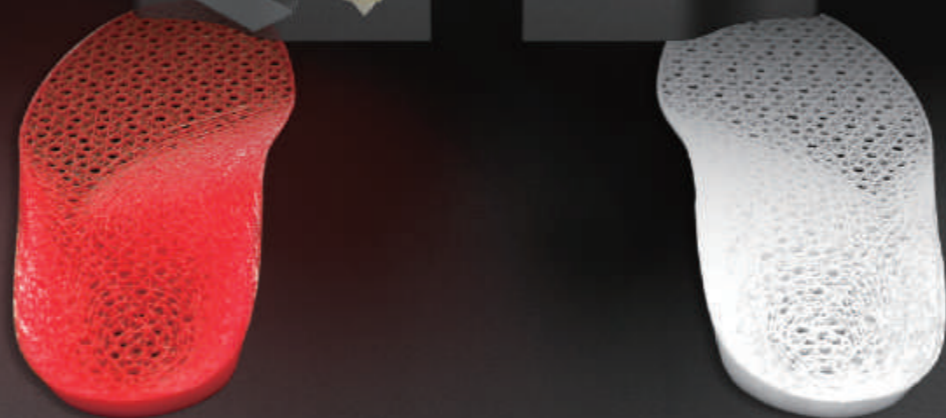
業界初、ビデオアシストオートキャリブレーション機能搭載により

誰でも安定して精度の高い造形が可能になった

コストパフォーマンスに優れたRaise3D新シリーズが登場

IDEX (Independent Dual Extruders)

独立したデュアルエクストルーダー



RAISE3D

複製モード

両方のエクストルーダーを使用して、同モデルの複数造形が可能になり、生産能力を向上させます。

ミラーモード

対象者のモデルとそのミラー形状を同時に造形し、生産性を高め造形時間を短縮します。

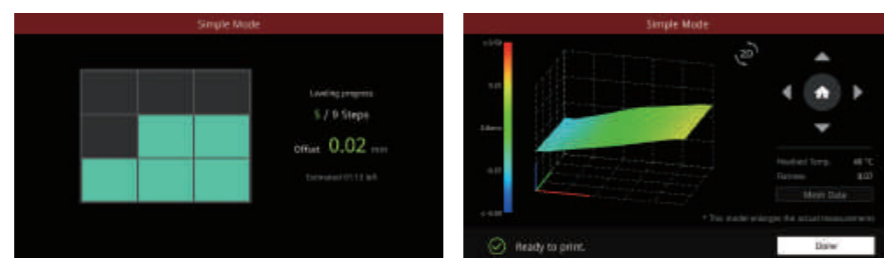


Raise3D専用スライシングソフト「ideaMaker」

Raise3Dは独自開発のソフトウェア「ideaMaker」を採用しています。サポート部分が自動的に生成され、業界トップクラスの取り外しやすさを誇ります。また、難しいデータでもスマートにスライスすることができ、複雑性の高い造形を可能にします。

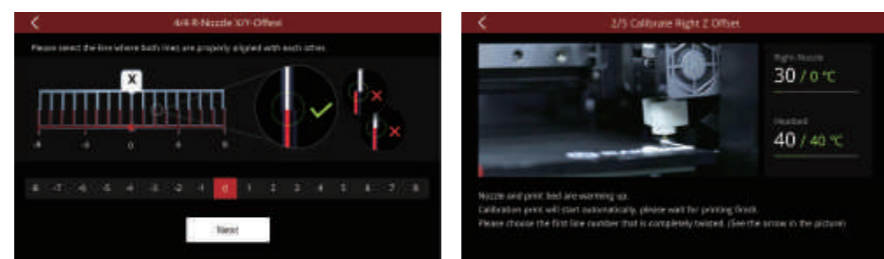
自動ベッドレベリング

造形開始前に自動でプラットフォームの水平を認識(画像:右)、造形可能な水平が取れるまでノズルとプラットフォームの間隔を調整します。計測結果を画像で案内するため、目視による確認が可能になりました。E2のプラットフォームはZ方向の移動がなく、前述の機能と合わせて常に安定した水平をキープします。



業界初、ビデオアシストオフセット調整システム

既存モデルのオフセット調整の方法を一新し、3Dプリンターを利用したことのない人でも簡単に調整できるようになりました。準備段階から造形までの詳細な方法を、映像をもとに案内いたします。従来の個人の間隔に依存する調整ではなく、視覚化された具体的な数値による調整によって、安定した造形が可能になります。



より正確な造形を可能に

新機能



セーフティ機能

ドアが開くと自動的に印刷が一時停止され、ユーザーの安全が確保されます。



フレキシブルビルドプレート

ビルドプレートを曲げるだけで簡単にモデルを取り外すことができ、モデルの損傷も防ぐことができます。



省電力ボタン

タッチパネルとLEDライトのオフが可能です。



様々な材料に対応

ギアとノズルの距離を短くしたことで、TPUなどの柔らかい素材の造形品質が大幅に向上しました。

真の高精度、業界トップクラスの寸法精度を誇り、後処理コストを最小限に抑える

3Dプリンターの精度と積層ピッチの細かさが同じ意味であるとお客様は少なくありません。しかし、同じ積層の造形でも機械によって造形精度が大幅に変わってきます。それはなぜでしょうか。実は、精度に影響を与えるのは積層ピッチだけではなく、各軸の解像度や機械構造(振動)、データのスライス方法等も影響します。

Raise3Dは4つの特徴によって、真の高精度を実現しました。

積層ピッチ: 0.02mm-0.25mm

位置決め精度: X/Y軸 ±0.78125micron、Z軸 ±0.078125micron

機械構造: X軸ガイドレール、Y軸2本ボールプッシュ、Z軸6本ボールねじとボールプッシュ

スライシングソフト: 独自開発ソフト「ideaMaker」

